

学習内容報告書 フォーマット

学校名	壱岐市立箱崎小学校
授業者	道越美咲

1. 単元計画

1-1. 単元名

壱岐の食を支える海を学ぼう

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

○活動内容

- ・ 4～7月：海の恵みに支えられた壱岐の食文化（19時間程度）
現代まで続く壱岐の食文化に具体的な教材を通じて触れながら、壱岐の食文化への関心を高め親しみと関心、誇りをもてるようにする。
- ・ 9月：漁業や海の環境についての理解を深める（2時間程度）
海の豊かな恵みが生きにもたらされている地理的・環境的な要因（海流や豊富な漁港、大陸との交流の歴史など）を理解した上で、それらの恵みを人々の暮らしに運び、文化として定着させることを助けた壱岐の漁業の特徴やその成り立ちについて学習する。
- ・ 10月：これまでの学びをまとめよう（10時間程度）
本単元での学習を踏まえた内容を取り扱った中間発表を行う。
- ・ 11～12月：海の恵みの将来を考えよう（7時間程度）
発表の振り返り後、海の恵みが今直面している課題、具体的には海のゴミ問題や温暖化、それらに伴う漁獲量の減少などについて、事業者の実際の声なども交え学習する。そのうえで、海の恵みと、それに支えられた壱岐の食文化をこれからも内外に誇るものにしていくために何ができるかについて、児童個々人の得意な事柄を生かした解決策の提案をまとめる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

壱岐市のシンボルである海への関心を深めるために、4年生で「食」や「漁業」の在り方を学ぶカリキュラムを計画した。5年生社会科で取り組んでいる「水産業」についての学習や「壱岐市栽培センター」の見学での学習を充実させるためにも、4年時にその導入となるような単元を展開する。それにより、陸と海、双方を捉える視野で地域への愛着を深める総合カリキュラムを展開することを目的とする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ①海の恵みや壱岐の食文化に対する愛着や関心をもつことで、5年生の社会科の水産業、流通、水の循環といった学習に、高い関心をもって臨むことができる。
- ②海の恵みや壱岐の食文化についての成果を発表することで、「知識をまとめ、他者に向けて表現する」プロセスを経験することができる。
- ③さらに、環境問題という観点から学習の前提を問い直し、児童が地域の将来の課題を自分自身の課題として受け止め、主体的に学びを深めていくことができる。
- ④箱崎地区の事業者には本校の活動について認知してもらうことで、今後のキャリア教育をはじめ、様々な場面で連携を行っていくための関係づくりを行うことができる。

1-7. 単元の展開（全38時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
19	<p>(1) 海の恵みに支えられた壱岐の食文化</p> <p>○海への関心を高める導入学習①</p> <p>○壱岐の食文化の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の食材を調べよう① (パソコン操作と練習) ・海の食材を使った料理を調べよう③ (インターネットの使い方、キーボードでローマ字入力) ・調べたことをまとめよう① <p>○地域の漁協、水産加工業者、お土産屋の見学学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学の準備をしよう① ・見学しよう② (デジタルカメラの使い方) ・見学したことをまとめよう② <p>○地域の方や観光客への食文化についての聞き取り学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの準備をしよう① ・インタビューしよう③ ・インタビューした内容をまとめよう② ・調べ学習、見学学習、聞き取り学習の内容をまとめよう② 	<p>○スライドを使って、海への関心を高める。 【評価：態度】</p> <p>○インターネットを活用して、壱岐の食文化について調べる学習を仕組む。【評価：知・技】 (引用サイト：壱岐の自然と文化遺産研究保存会HP)</p> <p>○地域の外部講師を活用し、魚捌き体験を仕組む。 (外部連携：箱崎地区まちづくり協議会)</p> <p>○地域の水産加工業者を見学する学習を仕組む。 (外部連携：馬渡水産)</p> <p>○見学では、「働く人の思い」「壱岐の食文化の価値」という視点をもたせる。【評価：思・判・表】</p> <p>○地域の魚屋(お土産屋)を見学する学習を仕組む。 (外部連携：こころ壱岐水産)</p> <p>○見学では、「観光業」「壱岐の食材の価値」という視点をもたせる。【評価：思・判・表】</p> <p>○まとめる中で、「壱岐の食文化の価値」を認識できるようにする。【評価：思・判・表】</p> <p>○まとめたものを、見学先に掲示させてもらい、地域に向けても発信する。</p>
2	<p>(2) 漁業や海的环境についての理解を深める</p> <p>○壱岐の漁業の特徴を調べる① (地理的・環境的な要因について)</p> <p>○壱岐の漁業の成り立ちについて調べる① (大陸との交流の歴史について)</p>	<p>○壱岐の漁業の特徴や成り立ちについて調べる学習を仕組む。【評価：知・技】 (引用サイト：壱岐の自然と文化遺産研究保存会HP) (参考資料：壱岐市水産課漁獲量等資料)</p>

10	<p>(3) これまでの学びをまとめよう ～学習発表会を成功させよう～ (海洋教育の中間発表として位置づける)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○準備と練習⑨ ○発表会を振り返ろう① 	<ul style="list-style-type: none"> ○海洋教育での学びを、劇を通して発表する。 ○調べ学習の内容をプレゼンテーションしたり、老 岐市の魅力をキャラクター化して劇中に登場さ せたりすることで、児童が主体的に取り組むこと ができるようにする。【評価：思・判・表】
7	<p>(4) 海の恵みの将来を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学習を振り返り、海の恵みが直面 している課題について調べる <ul style="list-style-type: none"> ・海に関する課題について考えよう① (ゴミ問題、温暖化、漁獲量減少など) ・インタビューの準備をしよう① ・インタビューしよう① ○課題をもとに、自分に何ができるのか考え る。 <ul style="list-style-type: none"> ・海の恵みの将来のために何ができるか考 えよう① ・海の恵みの将来に向けた提案をまとめよ う② ・提案を伝えよう① 	<ul style="list-style-type: none"> ○海に関する課題について知るため、地域漁協の見 学学習を仕組む。 (外部連携：箱崎漁協) ○見学では、「漁獲量減少」「海洋環境に関する問題」 という視点をもたせる。 ○環境問題と併せて、箱崎漁協で取り組んでいる 「定置網漁」についても学びを深める。 【評価：思・判・表】 ○課題をもとに、将来のために何ができるのかを考 えさせ、提案としてまとめさせる。 ○提案については、①課題を踏まえているか。②学 びを生かしているか。③解決するプロセスは子ど もなりのアイデアを含んでいるか。という3点 を意識させる。【評価：思・判・表】 ○児童の独創的なアイデアをもとにまとめるた め、児童の考えを認め、肯定感を高める。 【評価：態度】 (参考資料：「SDGs」に関する図書資料) ○老岐市主催「SDGs 対話会」の場を活用し、児童 の学びを外部に発信する機会を設定する。(今年 度は、紙面での発表を行い、来場者にふせんで感 想を記入してもらう。)

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 38 時間中の 36 時間目

2-2. 本時の目標

これまでに学習した壱岐の海の問題を解決するために、海の恵みの将来に向けた提案を考え、友達へ説明することができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1. 前時までの学習を想起し、本時の課題をつかむ。</p> <p>○前時までに作成した学習成果物を見て、壱岐の海が抱えている問題の中から、解決したいものを選び、解決するためのアイデアを考えるという課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">海を守るために、この先、わたしたちには何ができるのだろうか。</p> </div>	<p>○壱岐の海の問題を確認し、自分なりに解決するためのアイデアを考えるという課題を想起させる。</p> <p>○前時までに調べたSDGsに対する様々な取組を確認し、これまでにでてきていないアイデアを考えることを確認する。</p>
<p>2. 全体で話し合い、挙げられている問題の中から、自分が解決したい問題を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯焼けの原因となっているこんぶやわかめの減少を食い止めるための対策を考えたい。 ・漂流ゴミや家庭から出るゴミが海に多い問題を解決したい。 ・二酸化炭素の排出量を減らし、地球温暖化を食い止めることで、海面温度の上昇に対する対策を考えたい。 	<p>○主体的に活動に取り組めるように、自分が考えたい問題を選択させ、自己決定させる。</p>
<p>3. 選んだ問題を解決するためのアイデアを考え、ワークシートに書き込んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんぶやわかめを網で囲って魚に食べられないようにすればいいのでは。 ・ゴミを自動で収集できるような装置を港に作ればいいのでは。 ・二酸化炭素を出さないような車を開発していくとよいのでは。 	<p>○アイデアを様々な視点から生み出し、提案へとまとめていけるよう、小さなアイデアでもワークシートへ書くよう助言する。</p> <p>○①課題を踏まえているか。②学びを生かしているか。③解決するプロセスは子どもなりのアイデアを含んでいるか。という3点を意識させ、児童が書き込んだワークシートを用いて評価する。【評価：思・判・表】</p>
<p>4. 自分の考えをグループで共有し、アドバイスをし合ったり、新たな視点をもったりする。</p> <p>○一度、考えたアイデアを共有することで、より</p>	<p>○自己決定につながるように、集団で話し合った後、取り入れたい意見をワークシートへ書き込むよう助言する。また、すぐにはできそうにないことでも、</p>

<p>効果のある対策をアドバイスし合ったり、友達のアイデアから新たな視点を得て、アイデアをより深めたりする。</p> <p>5. 次時でアイデアシートを完成させることを確認し、本時の振り返りを行う。</p> <p>○学びを振り返り、自分なりのアイデアを考えることができたかを自己評価する。</p>	<p>実現可能・持続可能の点で考えさせ、未来への提案として受け入れるようにする。</p> <p>○次時の見通しをもつために、今回考えたアイデアを他の人が読んでも伝わる提案へと仕上げていくことを確認する。</p>
--	---

3. 今回の活動の自己評価

<p>(1) 海の恵みに支えられた壱岐の食文化</p> <p>○児童主体による調べ学習から始め、壱岐の食文化の価値を知るための学習という流れで進めた。壱岐の食材や食文化についての知識を得ることができた。さらに、見学を通して、食文化に関わる人の思いに触れたことで、より有意義な学習となった。壱岐の食文化の価値を強く認識できた。</p> <p>(2) 漁業や海の環境についての理解を深める</p> <p>○壱岐の漁業について、地理的・環境的・歴史的要因について学んだことで、児童にとって身近な地域の様子をより近くに感じることができた。また、後学で課題を考える際の視点をもつことができた。</p> <p>(3) これまでの学びをまとめよう ～学習発表会を成功させよう～</p> <p>○児童の学びを劇にして発表したことで、児童の主体性をより高めることができた。</p> <p>(4) 海の恵みの将来を考えよう</p> <p>○ただ机上で課題を知るのではなく、実際に漁協に行きインタビューを行い、働く人から課題を教えもらったことが、学習効果を高めた大きな要因になった。また、「自分に何ができるのか」という具体的な改善策を考えたことで、将来の行動につながる学習となった。「SDGs 対話会」で外部発信できたことも、児童が達成感を感じ、学びに対する肯定感を高めることができた。</p>
--

4. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> ●児童の学びを外部に発信する機会、発信内容、発信方法を再考する必要がある。発信機会を活用することで、児童の「伝える意識や技能」も鍛えられ、より学習効果が向上すると考える。 ●今年度は、学習の中で3つの外部機関と連携を図った。学習効果は高かったが、渉外等に多くの時間を割かなくてはならなかった。来年度の学習に向けて、連携先や数を再考したり、複数人で担当することで効率よく学習準備をする必要がある。 ●今年度は、海洋教育の中間発表として、学校行事の発表会を活用した。来年度も同様に実施する場合、発表内容を工夫する必要がある。あるいは、中間発表の設定を見直す必要がある。
--

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<p>特になし</p>
